

連載46

そして音楽の旅は続く

ピアニストの師匠にご登場いただいて



さてさて、クルーズ船のショーのお仕事をいただいて、最初に2週間分(2週間拘束なので)のギャラの交渉がまとまり、次に乗船区間を選びました。まだどこも決まっていなかったの、今なら世界中のどこでも良いよって言われて、ワクワクしました。まず目を引いたのは

…スエズ運河を通ればエジプトを皮切りに地中海諸国を5か所寄港、大西洋に出ればデンマークまで7か所寄港します。このルートが素敵～!シチリア島でレモンのジュース飲みたいな～、エルメスの本店にいったい～最初はそう考えたのですが、ヨーロッパは将来のんびりと訪ねて、歴史に残る建造物を見たり小説の舞台になった場所に行ってみたくて、今後ヨーロッパ旅行の機会があるかもしれないなあ。だから今回は違う所にしよう!きつと自腹では絶対に行くことがないような所!選んだのはメキシコ→パナマ運河→コスタリカ→サンフランシスコというルートでした。このルートならエルメスやシャネルで散財することもなく、見たこともない面白い体験ができるぞ～。クライアントにもOKをも

らってこのルートに決定しました。ただ残念なことに、私たちの出国間近になってメキシコでSARSの感染者が増え始めたため、クルーズ船のメキシコ寄港は中止になりました。カリブ海からパナマ運河を通って見たかったなあ。

結局、パナマ運河を抜けた所から乗船することになり、ルートはパナマ→コスタリカ→サンフランシスコになりました。

ギャラはOK、ルートが決まれば日程も決まるので、これでミュージシャンの手配に取りかかれます。たしか1時間くらいのショーだったと思いますが、難しいなと思ったのはピアニストと2人でやって欲しいというご依頼でした。その頃の私は駆け出しのジャズボーカリストで、頑張っている硬さや緊張感があったと思います。LIVEでは、それも良いと思いますがお食事後のショータイムには、もっとリラックスした雰囲気が欲しいですよね。慣れないスタイルのお仕事なので、これはもう師匠にご登場いただいて、いろいろ現場で教えていただくしかない!それに2週間も一緒に船で生活するので、気心の知れた、あのピアニスト岩谷泰行さんしかない。岩谷さんは当時から全国各地のジャズクラブ、ホテル、ライブハウス、コンサートホール等で演奏している売れっ子で、TVやラジオへの出演や楽曲提供など多くの作品も手掛けています。ヴォーカリストからの信頼も

ジャズボーカリスト

星乃けい

official website

<https://www.hoshinokei.com>

厚く、歌伴の名手としても知られていて元宝塚スター、上月晃(こうづきのぼる)さんの専属ピアニストとして、彼女の晩年まで12年間勤めました。そんな超多忙なピアニストでしたが、なんとかOKをもらいました。

乗船期間は2週間ですが、準備や帰国後の休養を入れると3週間ほどは日本でのLIVEができなくなります。岩谷さんにも、レギュラーのスケジュールがあつて、それを変更しなければならなかったので本当にご迷惑をおかけしましたが、今でも会う度に「一緒に行ったよね～!」って笑顔になり、いい思い出です。



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。